USA's primary source for projector lamps
myprojectorlamps

プロジェクター所有者の取扱説明書

BenQ

MX726

このプロジェクターの交換用ランプが必要ですか？

www.mplamps.co.jp

メーカーオリジナル取扱説明書。MyProjectorLamps.comの厚意として、修正せずに提供しています。
すべての商標は、それぞれの所有者の所有物です。

ネットワーク プロジェクタ
操作ガイド



著作権

Copyright 2014 BenQ Corporation。All rights reserved。本書のいかなる部分も、BenQ Corporation の事前の書面による同意なく、電子的、機械的、磁気的、光学的、学的、手動その他の手段を問わず、複製、転載、改変、検索システムへの保存、他言語またはコンピュータ言語への翻訳を行うことはできません。

本書に記載されているその他すべてのロゴ、製品、会社名は、各社の登録商標または商標であり、ここでは参照のみを目的として使用されていま。

おことわり

BenQ Corporation は、明示的または暗示的を問わず、本書の内容に関して、特に保証、商業的可能性、特定目的への適合性に関しては、いかなる表明たは保証もいたしません。また、BenQ Corporation は、お客様に改訂または修正の通知を行う義務を負うことなく、本書を改訂したり、本書の内容を時修正する権利を有します。

この取扱説明書は、最新かつ正確な情報を提供することを目的としているため、将来予告なく変更される場合があります。最新版は、http://www.benq.com でご覧いただけます。

BenQ は、たとえこの製品からリンクされていたとしても、サード？パーティが維持管理するウェブサイトや同様のリソースの内容には一切責任をいません。これらのウェブサイトや同様のリソースへのリンクが提供されていたとしても、明示または暗示の有無に関わらず、それらの内容にいて BenQ は一切の保証も責任も負いません。

本製品にプリインストールされているサードパーティのコンテンツやサービスは、「現状のまま」提供されます。BenQ は、明示または暗示の有無関わらず、サードパーティが提供するコンテンツやサービスについて一切責任を負いません。BenQ は、サードパーティが提供するコンテンツやービスが正確であること、効果的であること、最新の状態であること、合法または完全であることについて、いかなる責任も負いません。いかる場合においても、BenQ はサードパーティの当事者の過失を含め、彼らが提供するコンテンツやサービスについて一切責任を負いません。

サードパーティが提供するサービスは、一時的または完全に終了する場合があります。BenQ はサードパーティが提供するコンテンツやサービスがに正常な状態であること、または当該コンテンツやサービスの終了について一切責任を負いません。

また、BenQ は、サードパーティが維持管理するコンテンツや同様のリソースでお客様との間で行われた取引については一切関与しません。

ご質問、ご意見は、コンテンツまたはサービス提供会社にお問い合わせください。

目次

準備 5

プロジェクタとコンピュータを繋ぐ 5

有線接続 5

QPresenter 7

システムの最低要件 7

QPresenter のダウンロード 7

プロジェクタから 7

取扱説明書 CD から（一部のモデルのみ） 7

BenQ.com から 7

QPresenter のインストール 8

PC の場合 8

MAC の場合 8

QPresenter を使う 8

検索 9

特殊機能 9

設定 10

切断 11

ウェブブラウザからプロジェクタを遠隔操作する 12

ダウンロード 12

仮想キーパッド 13

画面の設定 13

画像の設定 14

情報 14

Crestron 15

管理者 17

基本 18

有線 LAN 19

会議の操作 19

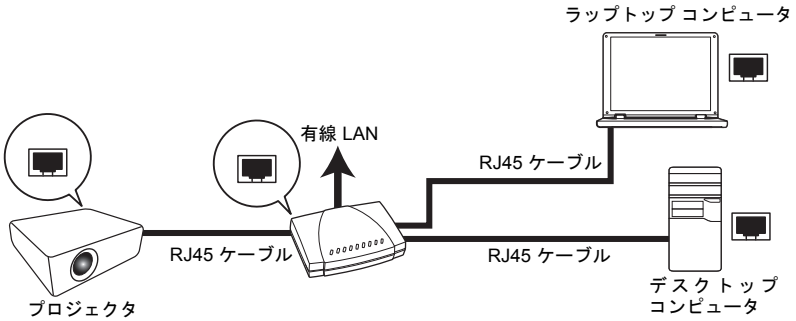
メールの設定 20
E メール警告機能を作動させるエラー 21
E メール警告の例 21
クイック ボタン 22
Web コントロールロックの使用方法 22
コンピュータ画面を投写する 23
1 台のプロジェクタに 1 台のコンピュータ スクリーンを表示する 23
サポートされる解像度 23
投写ログイン コードの使用方法 23
PJLink コマンド 24

準備

BenQ プロジェクタには、有線 / 無線のネットワーク機能が付いています。リモートコンピュータが同一の LAN に正しく接続されている場合は、このコンピュータからウェブブラウザでプロジェクタを管理したり、操作したりすることができます。また、**QPresenter** を使ってコンピュータに保存されているデータをプロジェクタに投写することも可能です。

プロジェクタとコンピュータを繋ぐ

有線接続



DHCP 環境の場合：

1. RJ45 ケーブルでプロジェクタの RJ45 LAN 入力ジャックと、Ethernet またはルーターの RJ45 ポートを接続してください。
2. 次のいずれかの手順に従ってください。
   - リモコンで **NETWORK SETTING** を押します。すると**ネットワーク設定**ページが表示されます。
   - **MENU/EXIT** を押して、**システム設定 : 詳細**メニューが表示されるまで ◀/▶ を押してください。▼ を押して**ネットワーク設定**を選択し、次に **MODE/ENTER** を押してください。すると**ネットワーク設定**ページが表示されます。
3. **有線 LAN** を選択し、**MODE/ENTER** を押します。
4. **状態**が**接続**になっていることを確認してください。
5. ▼ を押して、**DHCP** を選択し、次に ◀/▶ を押して**オン**を選択してください。
6. ▼ を押して**適用**を選択し、次に **MODE/ENTER** を押してください。
7. 再び**ネットワーク設定** > **有線 LAN** ページに入ります。すると **IP アドレス**、**サブネットマスク**、**既定のゲートウェイ**および **DNS** 設定が表示されます。**IP アドレス**列に表示される IP アドレスを書き留めておいてください。

それでも **IP アドレス**が表示されない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

非 DHCP 環境の場合：

1. 上記のステップ 1-4 の手順に従ってください。
2. ▼ を押して、**DHCP** を選択し、次に ◀/▶ を押して**オフ**を選択してください。
3. ネットワーク管理者から **IP アドレス**、**サブネットマスク**、**既定のゲートウェイ**、**DNS** 設定などの情報を取得してください。
4. ▼ を押して調整したいアイテムを選択し、**MODE/ENTER** を押します。
5. ◀/▶ を押してカーソルを動かし、▲/▼ を押して値を入力します。
6. 設定を保存するには、**MODE/ENTER** を押します。設定を保存しない場合は、**MENU/EXIT** を押します。
7. ▼ を押して**適用**を選択し、次に **MODE/ENTER** を押してください。

上記の手順に従って設定するとプロジェクタが LAN に接続されますので、同じ LAN に接続しているコンピュータから自由にアクセスできるようになります。

また、プロジェクタの IP アドレスを確認するには、プロジェクタがインターネットに接続されていることを確認した上でプロジェクタの **SOURCE** を押してください。**ネットワーク表示**を選択します。画面に IP アドレスが表示されます。

QPresenter

QPresenter はホスト PC で実行するアプリケーションです。このアプリケーションはコンピュータを有効なネットワーク プロジェクタに接続し、ローカル ネットワーク接続を介してデスクトップの内容やオーディオ信号をネットワーク プロジェクタに転送します。

システムの最低要件

- サポートされる OS：Windows® XP、Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1、10.9 までの Mac OS
- CPU：Intel Pentium 4 3.0 G CPU（プロジェクタのスピーカーから 1:1 オーディオを出力）、Core2 Duo 2.40 GHz CPU（ブロードキャスト機能）
- メモリ：1 GB（プロジェクタのスピーカーから 1:1 オーディオを出力）、2 GB（ブロードキャスト機能）
- HDD の空き領域：32 MB 以上

BenQ は、すべてのお客様の環境に個別にサポートすることはできません。PC/ ノートブックによって互換性が異なります。

QPresenter のダウンロード

いくつかの方法でダウンロードできます。

プロジェクタから

このプロジェクタには Mac 版の **QPresenter** も用意されています。Mac コンピュータをご使用の方は、ダウンロードできるように自動的に Mac 版の **QPresenter** が提供されます。

1. プロジェクタをインターネットおよびコンピュータに接続します。詳細は、5 ページの「プロジェクターとコンピュータを繋ぐ」を参照してください。プロジェクタの IP アドレスが見つかったら、手順に従ってください。
2. ブラウザのアドレスバーにプロジェクタの IP アドレスを入力し、キーボードで **Enter** を押します。



3. すると**プロジェクターのネットワーク ディスプレイ システム**が表示されます。
4. **ダウンロード**アイコンをクリックします。

取扱説明書 CD から（一部のモデルのみ）

1. プロジェクタに取扱説明書 CD を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. **QPresenter-Broadcast.setup** をダウンロードします。

BenQ.com から

BenQ.com から最新版の **QPresenter** をダウンロードしてください。

QPresenter のインストール

PC の場合

1. ダウンロードが完了したら、exe ファイルをクリックします。
2. **次へ**をクリックします。
3. **同意する**をクリックしてライセンス同意書に同意します。
4. **次へ**をクリックしてコンポーネントをインストールします。
5. **次へ**をクリックしてインストール先を確定します。
6. **QPresenter** のユーザー名とパスワードを設定し、**次へ**をクリックします。
7. **インストール**をクリックすると完了します。

MAC の場合

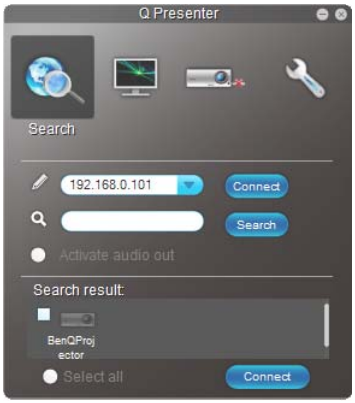
1. ダウンロードが完了したら、dmg ファイルをクリックします。
2. ファイルをダブルクリックすると、**QPresenter** というディスクイメージがマウントされます。
3. コンテンツを見るには、ディスクイメージ **QPresenter** をダブルクリックします。

QPresenter を使う



番号	名前	機能
1	**検索**	プロジェクタを検索、接続できます。詳細は、9 ページの「検索」を参照してください。
2	**特殊機能**	投写画像を管理するための高度な機能を使用できます。詳細は、9 ページの「特殊機能」を参照してください。
3	**設定**	**QPresenter** を設定できます。詳細は、10 ページの「設定」を参照してください。
4	**切断**	プロジェクタを外します。詳細は、11 ページの「切断」を参照してください。

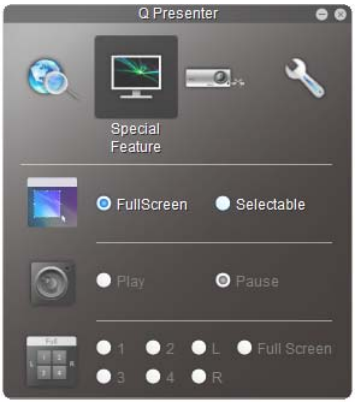
検索



- プロジェクタに接続するには、プロジェクタの IP アドレスを入力し、**接続**をクリックします。
- プロジェクタを検出するには、**検索**をクリックするだけで同一 LAN 上のプロジェクタがすべてリストされます。**検索結果**リストで任意のプロジェクタをクリックし、**接続**をクリックします。また任意のプロジェクタ名を入力し、**検索**をクリックすることもできます。
- 自動検索と接続：同一サブネットに 1 台の BenQ プロジェクタしかない場合は、**QPresenter** は自動検索をした上でこのプロジェクタに接続します。つまり、**検索**アイコンを 1 回押すだけで接続が完了します。

このモデルは、入力ソースが**ネットワーク表示** (**QPresenter**) の場合には、サウンドを再生することができません。

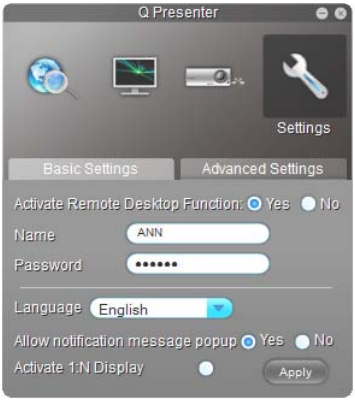
特殊機能



- フル画面を表示するには、**全画面**をクリックします。
- 画面の一部を表示するには、**選択可能**をクリックします。画面に矩形の枠が表示されます。サイズを調整し、投写したい場所に合わせてください。
- 投写を一時停止するには、**一時停止**をクリックします。

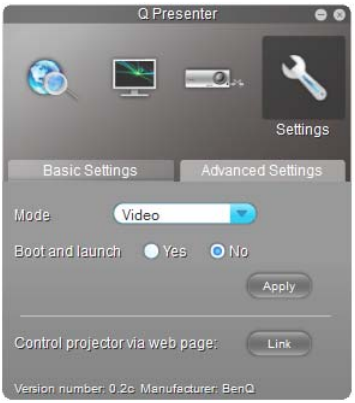
設定

基本設定



- **QPresenter** では、大文字アルファベットと 0-9 の数字 8 文字以内で構成される名前と、1 から 4 までの 6 桁で構成されるパスワードしか設定できません。
- **QPresenter** インターフェイスの言語を変更するには、下向き矢印をクリックしてドロップダウン リストを開き、言語を選択します。**適用**をクリックします。
- 通知メッセージを表示するには、**はい**をクリックします。**適用**をクリックします。
- **有効化 1:N 画面**：このコンピュータの画像を 1 台のプロジェクタにしか表示できません。

詳細設定



- 静止画を表示するには、下向き矢印をクリックしてドロップダウン リストを開き、**グラフィック**を選択します。**適用**をクリックします。ビデオクリップを表示するには、下向き矢印をクリックしてドロップダウン リストを開き、**ビデオ**を選択します。**適用**をクリックします。
  ビデオモード：画質は標準ですが、通信速度は速くなります。

グラフィックモード：画質は良くなりますが、通信速度は遅くなります。ただし、実際の通信速度はその時のネットワークのトラフィック状態によります。

- キャプチャレートを調整するには、スライドバーを動かします。ネットワークの帯域によっても性能は影響を受けます。
- コンピュータのオペレーティング システム起動時に同時に **QPresenter** も起動するには、**ブートして起動**に対して**はい**をクリックします。**適用**をクリックします。
- **プロジェクターのネットワーク ディスプレイ システム**ウェブページにリンクするには、**リンク**をクリックします。

切断

プロジェクタから切断するには、**切断**アイコンをクリックします。

- **QPresenter** を使用する前に、他の仮想ネットワーク制御プログラムをオフにしておいてください。
- **QPresenter** および USB ディスプレイを正常に機能させるためには、PC のファイヤーウォールを無効にしておく必要があります。
- 現時点は、このプロジェクタはワイヤレス キーボード マウス コンボには対応していません。

ウェブブラウザからプロジェクタを遠隔操作する

プロジェクタの正しい IP アドレスを取得し、プロジェクタをオンまたはスタンバイモードに設定した後は、同一 LAN に接続されているコンピータを使ってプロジェクタを操作することができます。

プロジェクターのネットワーク ディスプレイ システムには 2 つの権限があります。**管理者**の権限があれば、すべての機能を設定できます。そうでない場合は、次の機能しか設定できません。

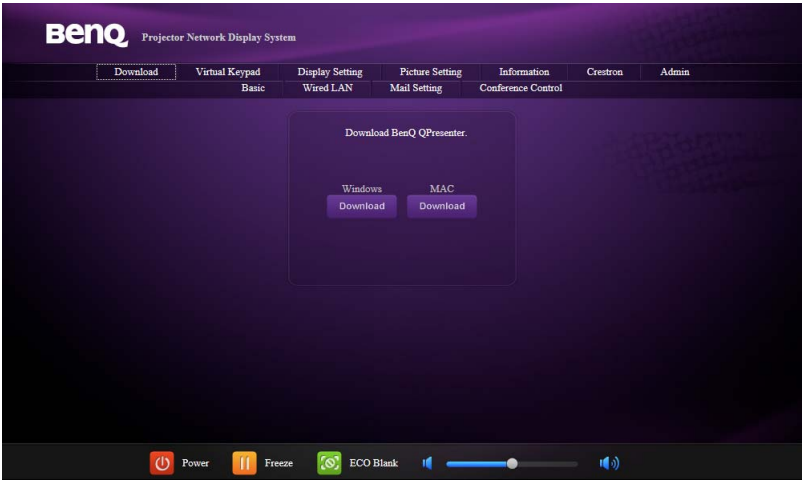
- ダウンロード
- 仮想キーパッド
- 画面の設定
- 画像の設定
- 情報
- Crestron

- サポートされるウェブブラウザは次のとおりです。
  - Internet Explorer 7.0 / 8.0 / 9.0 / 10.0 / 11.0
  - Chrome 36.0.1985.125
  - Safari 5.1.2
  - Firefox 10.0
- 本書に掲載されるスクリーンショットは参照用であり、実際の仕様とは異なる場合があります。

ダウンロード

プロジェクタがコンピュータに接続されていることを確認してください。詳細は、5 ページの「プロジェクターとコンピュータを繋ぐ」を参照してください。

プロジェクターのネットワーク ディスプレイ システムのメインページが表示されます。このウェブページからは、ワンクリックで各種機能にアクセスできます。



コンピュータに **QPresenter** ソフトウェアを保存するには、**ダウンロード**をクリックします。詳細は、8 ページの「QPresenter のインストール」を参照してください。

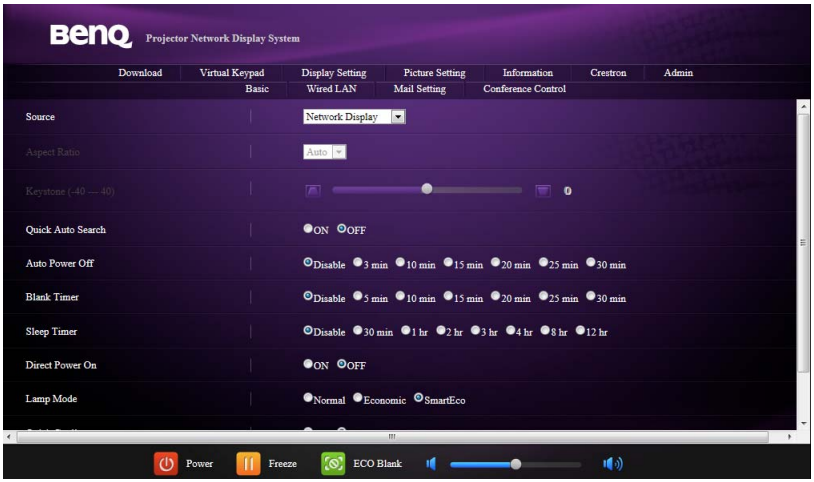
仮想キーパッド

仮想キーパッドには、プロジェクタの実際のキーパッドを使用した場合と同じようにプロジェクタを操作できる、仮想キーパッドが表示されます。操作方法については、取扱説明書の「操作と機能」のセクションをお読みください。



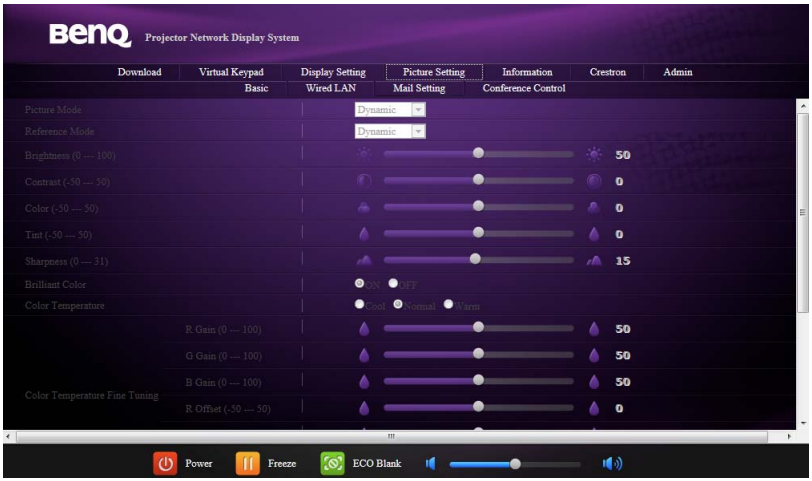
画面の設定

画面の設定ページには、プロジェクタを操作したり、投写画像を調整したりするのに必要な OSD メニュー アイテムが表示されます。使い方については、取扱説明書の「メニュー操作」のセクションをお読みください。



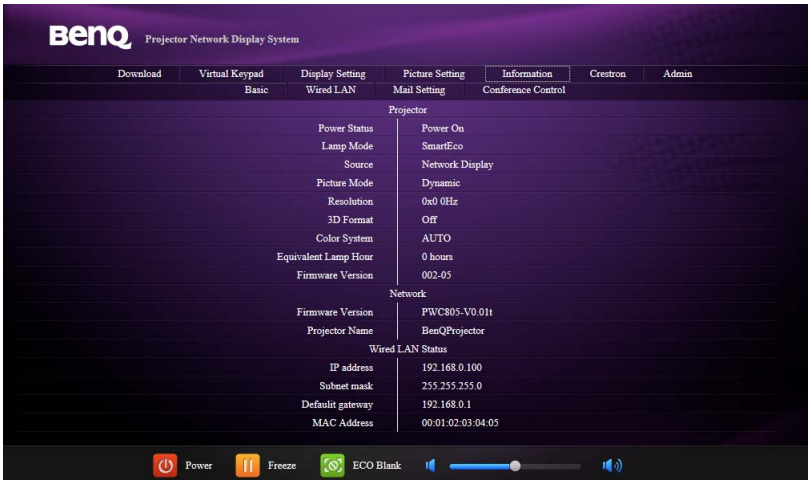
画像の設定

画像の設定ページでは、投写画像を調整するのに必要な**ピクチャ**メニューのすべての OSD メニュー項目が表示されます。使い方については、取扱説明書の「メニュー操作」のセクションをお読みください。



情報

情報ページには、プロジェクタの状態、ネットワークの状態が表示されます。



Crestron

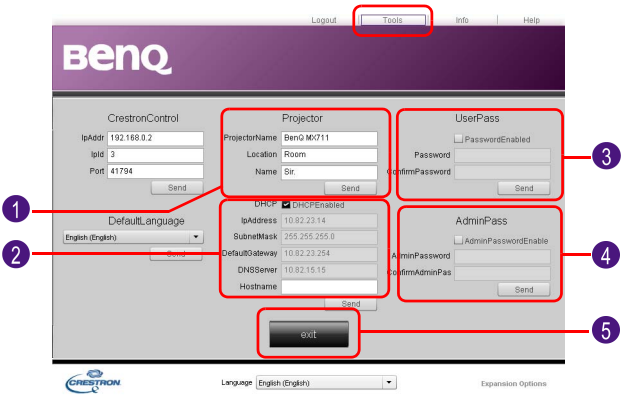
Crestron (eControl) ページでは、Crestron eControl ユーザーインターフェイスが表示されます。eControl ページでは、プロジェクタを操作したり、投写画像を調したりするための各種仮想キーを使用できます。



番号	機能
1	これらのボタンは、OSD メニューやリモコンのボタンを同じように作動します。操作方法については、取扱説明書の「操作と機能」のセクションをお読みください。
2	入力ソースを切り替えるには、任意の信号をクリックしてください。
3	ソフトウェアは複数の言語に対応しています。

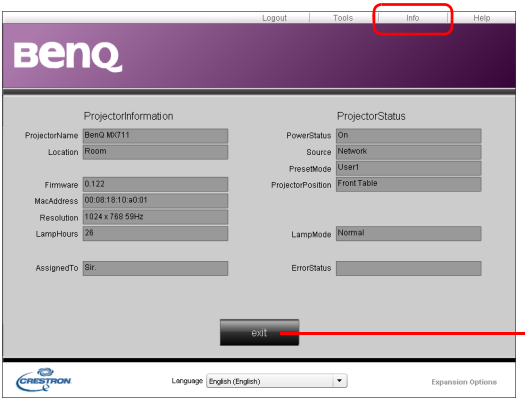
前の OSD メニューに戻り、メニュー設定を保存して終了するには、Menu（メニュー）ボタンを使用することもできます。

ツールページでは、このプロジェクタでプロジェクタを管理したり、LAN 操作の設定を行ったり、リモートネットワーク操作のセキュアアクセスを設定したりすることができます。



番号	機能
1	プロジェクタに名前を付けたり、プロジェクタの場所や担当者を追跡したりすることができます。
2	**ネットワーク設定**を調整することができます。
3	パスワードを設定すると、このプロジェクタのリモートネットワーク操作がパスワードで保護されます。
4	パスワードを設定すると、ツールページへのアクセスがパスワードで保護されます。 調整後は、**送信**ボタンを押すとデータがプロジェクタに保存されます。
5	**終了**を押すと、リモートネットワーク操作ページに戻ります。

情報ページには、このプロジェクタの情報と状態が表示されます。



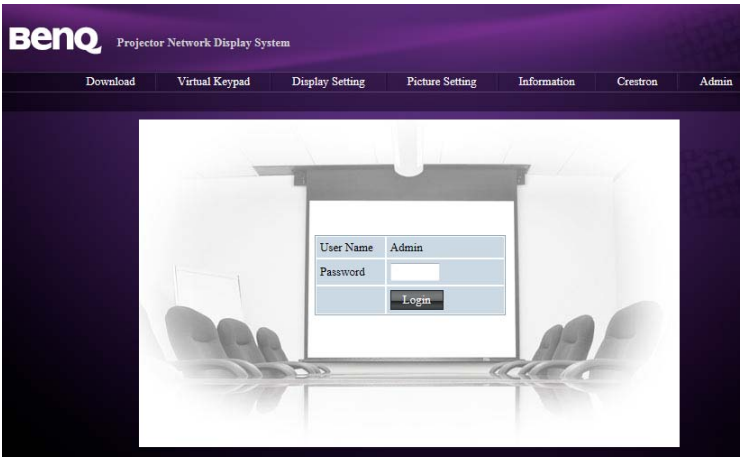
終了を押すと、リモートネットワーク操作ページに戻ります。

詳細は、http://www.crestron.com と www.crestron.com/getroomview をご覧ください。

管理者

管理者ページにアクセスするには、パスワードを入力する必要があります。このページでは他のネットワークを設定することも可能です。デフォルトのスワードは「0000」です。

パスワードを変更するには、**基本**ページに入ってください。



基本

基本ページでは、パスワードを変更したり、接続するコンピュータの最大数を設定したりすることができます。接続するコンピュータの数によっては、ネットワークのディスプレイ性能に影響が出る場合があります。ここでは**投写ログイン コード**と **AMX デバイス検索**の設定も調整できます。



- **プロジェクタ名**：プロジェクタに名前を付けて、**適用**をクリックします。
- **Web コントロール ロック**：この機能は、許可されないユーザーが**プロジェクターのネットワーク ディスプレイ システム**を介してプロジェクタの設定を故意に変更するのを防止します。詳細は、22 ページの「Web コントロールロックの使用方法」をご参照ください。
- **パスワードを変更しました**：**管理者**パスワードは変更できます。
- **投写ログイン コード**：コードを入力しなければプロジェクタを使用できなくなります。

  投写ログイン コードが**オン**に設定されており、**ユーザー指定の投写ログイン コード**が**オフ**に設定されている場合は、システムがランダムに 4 桁のコードを生成します。

  投写ログイン コードが**オン**に設定されており、**ユーザー指定の投写ログイン コード**が**オン**に設定されている場合は、ログイン（4 桁）に 4 桁のコードをあなた自身で決めることができます。詳細は、23 ページの「投写ログイン コードの使用方法」をご参照ください。
- **AMX デバイス検索**：AMX コントロールシステムでプロジェクタを検出できます。
- **初期値に戻す**：**基本**、**有線 LAN** の設定と、**メールの設定**が初期値に戻されます。

有線 LAN

有線 LAN ページでは、有線 LAN の設定を調整できます。

DHCP 自動取得：DHCP サーバーが提供する IP アドレスを取得できます。**オフ**に設定すると、あなた自身で IP アドレスを設定することができます。



会議の操作

会議の操作ページでは、プロジェクタに複数のユーザーが接続している場合、どのコンピュータをスクリーンに投写するかを操作することができます（**管理者**権限）。



同一サブネット上のコンピュータは、同一ネットワーク上のプロジェクタに接続できます。接続が確立されると、お使いのコンピュータ（**管理者**として機能している場合）の**会議の操作**ページにすべてのユーザーがリストされます。ユーザー名の横にあるアイコンをクリックすると、そのコンピュータ画面を投写できます。

タスク	アイコン
あるユーザーにコンピュータ画面を投写させるには、2 つ目のアイコンをクリックします。	
投写を一時停止するには、3 つ目のアイコンをクリックします。投写画面は消画になりますが、コンピュータはプロジェクタに繋がれた状態にっています。	
投写を再開するには、2 つ目のアイコンをクリックします。	

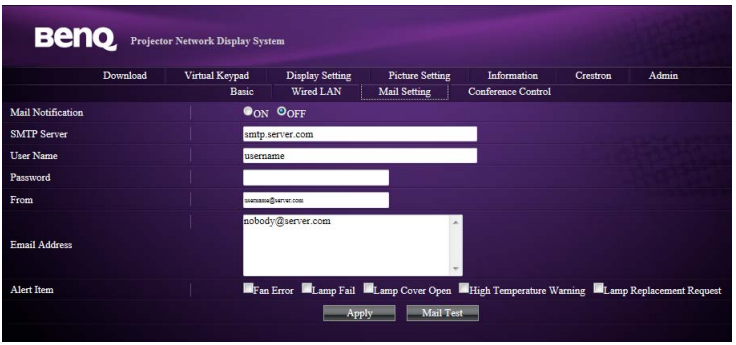
タスク	アイコン
コンピュータとプロジェクタの接続を解除するには、最初のボタンをクリックします。	

メールの設定

この機能は、E メールの配信を保証するためにネットワーク接続が確立されていれば有効になります。

メールの設定ページでは、プロジェクタのシステムでエラーが検出された場合、ネットワーク管理者に警告 E メールを送信するように設定できます。E メール警告機能は、あらかじめ定義されたプロジェクタシステムのエラーが発生すると送信されます（詳細は、21 ページの「E メール警告機能を作動させるエラー」を参照）。E メールが適切に設定されていれば、プロジェクタシステムはプロジェクタシステムでエラーが検出されたときに、指定された人警告 E メールを自動送信する E メールクライアント（SMTP クライアントなど *）として機能します。

*：SMTP プロトコルはデフォルトの TCP ポート番号 25 に対応しています。



先にメール設定を行ってください。また、**適用**を押して設定を保存してください。E メール警告機能が正常に作動するかどうかを確認するために、まず**メールテスト**機能で試してみることができます。必要事項を正確に入力し、メッセージが送信されるか、受信者が E メール警告を容易に認識できるかを確認してください。例は、21 ページの「E メール警告の例」でご覧いただけます。

- **メール通知**：E メール警告機能を有効にするには、**オン**に設定します。
- **SMTP サーバー**：SMTP メールサービスを提供するサーバーを入力します。
- **ユーザー名**：指定した SMTP サーバーのユーザーアカウント名を入力します。
- **パスワード**：指定した SMTP サーバーのユーザーアカウントのパスワードを入力します。
- **送信者**：指定した SMTP サーバーの E メールアドレス（警告 E メールの送信者）を入力します。
- **電子メール アドレス**：E メール警告の受信者の E メールアドレスを入力します。

- **警告アイテム**：E メール警告機能を作動させるエラーを選択します。

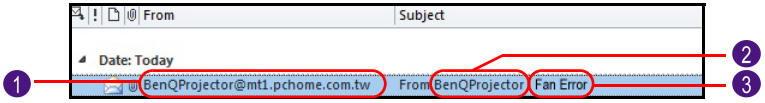
E メール警告機能が正常に作動するかどうかを確認するために、まず**メールテスト**機能で試してみることができます。

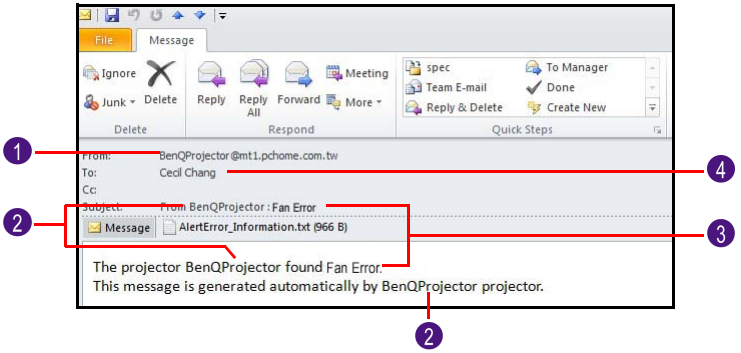
E メール警告機能を作動させるエラー

- **ファン エラー**：ファンが停止したり、設定した操作モードで速度に異常が見られるとき。
- **ランプ エラー**：プロジェクタの電源は入っているのにランプが点灯しなくなったり、操作時にランプが突然消えたりするとき。
- **ランプカバーが開いています**：プロジェクタのランプカバーが開いているとき。
- **高温警告**：プロジェクタの温度が指定した温度を上回るとき。
- **ランプ交換リクエスト**：指定したランプの寿命に達した場合は、あらかじめ定義しておいた E メールの受信者に警告が送信されます。

E メール警告の例

E メール警告には、**メールの設定**および**基本**で入力した情報が記載されます。





番号	メニュー オプション	参照 ページ	番号	メニュー オプション	参照 ページ
1	**送信者**	20	3	**警告アイテム**	21
2	**プロジェクタ名**	18	4	**電子メール アドレス**	20

クイック ボタン

これらのクイック ボタンは、プロジェクタを操作できるように常にウェブページにあります。



Web コントロールロックの使用方法

この機能は、許可されないユーザーが**プロジェクターのネットワーク ディスプレイ システム**を介してプロジェクタの設定を故意に変更するのを防止します。

この機能を有効にするには、次の手順にしたがってください。

1. コンピュータをプロジェクタに接続した後、ブラウザのアドレスバーにプロジェクタのアドレスを入力し、**Enter** を押します。
2. **プロジェクターのネットワーク ディスプレイ システム**の**管理者**ページを開きます。
3. 現在のパスワードを入力してください。
4. **Web コントロール ロック**で **オン**をクリックします。

次回このプロジェクタに接続した人は、**プロジェクターのネットワーク ディスプレイ システム**ページにはダウンロードと情報だけが表示され案す。

この機能を無効にするには、次の手順にしたがってください。

1. **プロジェクターのネットワーク ディスプレイ システム**の**管理者**ページを開きます。
2. 現在のパスワードを入力してください。
3. **Web コントロール ロック**で**オフ**をクリックします。

この機能は、OSD メニューからも切り替えることができます。

1. OSD メニューを開いた後で**システム設定 : 詳細** > **セキュリティ設定** > **セキュリティ設定の変更**メニューをひらきます。**MODE/ENTER** を押します。すると「パスワードを入力」してくださいというメッセージが表示されます。現在のパスワードを入力してください。
2. パスワードが正しく入力されると、OSD メニューの**セキュリティ設定**ページに戻ります。▼ を押して **Web コントロール ロック**を選択し、◀ /▶ を押して、次に**オン**または**オフ**を選択します。

コンピュータ画面を投写する

1 台のプロジェクタに 1 台のコンピュータスクリーンを表示する

1. コンピュータをプロジェクタに繋ぎます。詳細は、5 ページの「プロジェクターとコンピュータを繋ぐ」を参照してください。
2. **QPresenter** がダウンロード、インストールされていることを確認してください。詳細は、7 ページの「QPresenter のダウンロード」と 8 ページの「QPresenter のインストール」を参照してください。
3. アイコンをクリックして **QPresenter** を開きます。
4. プロジェクタの IP アドレスを入力し、**接続**をクリックします。または、プロジェクタを検出するには、**検索**をクリックするだけで同一 LAN 上のプロジェクタがすべてリストされます。**検索結果**リストで任意のプロジェクタをクリックし、**接続**をクリックします。また任意のプロジェクタ名を入力し、**検索**をクリックすることもできます。

サポートされる解像度

投写されたコンピュータ画面は、自動的に 1024 x 768 に調整されます。

投写ログイン コードの使用方法

この機能は正しいプロジェクタを介して確実にネットワーク表示ができるようにするためのものです。この機能を切り替えるには、次の手順にたがってください。

1. OSD メニューを開いた後で**システム設定 : 詳細** > **ネットワーク設定**メニューを開きます。**MODE/ENTER** を押します。
2. ▼ を押して**投写ログイン コード**を選択し、◀ /▶ を押して、次に**オン**または**オフ**を選択します。

この機能がオンになっているときには、ソースを**ネットワーク表示**に切り替えると、プロジェクタが右上隅にランダムに 4 桁のコードを作成します。プロジェクタに接続したときに、**QPresenter** でこの 4 桁のコードを入力する必要があります。

PJLink コマンド

このプロジェクタは、標準プロトコル PJLink に対応しています。サポートされるコマンドは次のとおりです。

下記のサポートされるコマンドは、モデル毎に異なります。

コマンド	説明	パラメーター
POWER OFF	電源制御	0 = 電源オフ
POWER ON	電源制御	1 = 電源オン
Power?	電源状況をクエリーします	0 = 電源オフ 1 = 電源オン 2 = 冷却中 3 = ウォームアップ
INPT	スイッチコマンドを入力します	11 = VGA1 12 = VGA2 21 = SVideo 22 = CVBS 31 = HDMI 51 = CARD_READER 52 = LAN DISPLAY 53 = USB DISPLAY
INPT?	現在の入力スイッチの状態をクエリーします	
AVMT	ミュート制御	10 = ビデオミュート オフ 11 = ビデオミュート オン 20 = オーディオミュート オフ 21 = オーディオミュート オン 30 = ビデオとオーディオミュート オフ 31 = ビデオとオーディオミュート オン
AVMT?	現在のミュートの状態をクエリーします	
LAMP?	ランプ時間数をクエリーします	ランプ時間
INST?	入力スイッチを有効にするリストをクエリーします	「11 12 21 22 31 51 52 53」と返します
NAME?	プロジェクタの名前をクエリーします	「デジタルプロジェクタ」と返します
INF0?	解像度をクエリーします	「教育シリーズ」と返します
INF1?	メーカー名をクエリーします	「BenQ」と返します

INF2?	モデル名をクエリーします	モデル名を下記のように「BenQ プロジェクタ」と返します
CLSS?	クラス情報をクエリーします	「バージョン」と返します
ERST?	エラー状況をクエリーします	エラー状況
GET ALL	すべての状況をクエリーします	すべての「?」アイテムを返します